

市民が耕作放棄地解消に 参加できる体験農園に期待する



以前は、市内のどこの田畑も農家の管理が行き届き、荒地はありませんでした。しかし、現在、国道150号沿いなど海岸部の農地では目を覆いたくなるほど荒れ果てた農地も見受けられます。このような現状を市民の皆さんにも知ってほしいです。

市荒廃農地対策協議会では、平成26年度までに市内の耕作放棄地64分の解消を目指しています。特に国道150号沿いに荒地が目立つ高松地区を重点地区として、担い手のリストアップと耕作放棄地貸し出し可能農地のマップ化、情報提供によるマッチングなど農業委員と連携し取り組んでいます。

私も農業委員として、担当地区の農地の利用状況を調査

しましたが、やはり条件の悪い農地を中心に耕作放棄地は増えています。担い手不足や農産物の価格低迷など農家を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、少しでも農地が荒れていくことを防ぐため、みんなで知恵を出し合っていかなければなりません。たとえ農業ができなくても農地の所有者は、責任を持って、その土地を管理していただきたいです。特に草刈りなどを怠ると周辺への影響はもとより所有者本人へ勧告や30万円以下の過料が科せられることがあります。このような事態にならないためにも、一人一人が意識を高く持つていただきたいのです。

本年度から市が取り組んでいる「体験農園」などは、耕

作放棄地解消に向けた有効な手法と考えています。自分で育てた農作物を収穫し、自分で調理して食べることの喜びや、家族で農作業に汗する充実感などは、経験してみないと味わうことができないものです。食べ物に対する意識も変わるのではないのでしょうか。

女性や子どもが農作業を体験することによって、農業に親しみを持つてもらうことも大切なことです。こうした試みが、耕作放棄地の解消につながり、市民の幸せにつながるものと信じています。



荒廃農地解消に尽力する
赤堀定夫 荒廃農地対策協議会会長

体験農園の モニターを募集

平成24年度は、サツマイモ、トウモロコシ、ニンジン、キャベツ、ジャガイモなどを栽培します。野菜の種や苗、肥料などは、市が用意し、栽培方法も指導します。モニターの皆さんには、農作業を体験する中で農業の魅力を味わってもらいます。肥料代などは実費負担となりますが、収穫した野菜は全てお持ち帰りいただけます。採りたての新鮮な野菜は、ご家族で食べきれない場合、親戚や友人にあげても喜ばれることでしょう。たくさんのご応募をお待ちしております。

※抽選会とオリエンテーションを3月23日(金)14時から行います。希望者は、それまでに申し込みをしてください。
申し込み・照会 農林水産課

☎0537(85)1125